

研究タイトル：

アメリカ自然主義文学における環境的テーマの表象に関する研究



氏名：	小泉嘉輝 / KOIZUMI Yoshiki	E-mail：	koizumi@gifu-nct.ac.jp
-----	------------------------	---------	------------------------

職名：	講師	学位：	修士(人間・環境学)
-----	----	-----	------------

所属学会・協会：	日本アメリカ文学会、テキスト研究学会、日本ジャック・ロンドン協会		
----------	----------------------------------	--	--

キーワード：	アメリカ文学、自然主義、環境人文学、動物表象		
--------	------------------------	--	--

技術相談	
提供可能技術：	

研究内容：

私の専門分野は、ごく大雑把に言えば「アメリカ文学」に属するものです。アメリカ人の手によって英語で書かれた文芸作品を読み、作家や作品について色々考えること…このようなことを(広い意味では)専門にしています。一般に「研究」と聞いて想像できるものとは少し違ったものを感じられるかもしれませんが、「新しい発見をする」という点では変わりありません。自分なりの着眼点から自分なりのアプローチで作品を解釈し直し、新しい読み方を見つけ出す。そして、新たな解釈を他の人にも納得できるよう説明する。このような作業を通して、取り上げた作家や作品の魅力をより多くの人に知ってもらおうとしています。世界中で何世代にもわたり読まれ続けてきた作品について、オリジナルの見解を示すことはそう簡単なことではありません。対象が外国語で書かれているとなおさらです。ですが、その困難に立ち向かうことそれ自体を面白いと感じています。これもまた、分野を問わず、どの研究にも共通するものではないでしょうか。

アメリカ文学と一口に言ってもその範囲は広く、作家がたくさんいることはもちろんのこと、詩や小説といった作品ジャンルなども含めるとその対象は多岐に渡ります。その中でも私は「アメリカ自然主義文学」特にその時代の小説に関心を持っています。これについて知ってもらうには、まず自然主義そのものを説明しなくてはなりません。自然主義とは、19世紀後半にフランスのエミール・ゾラ(Emile Zola, 1840-1902)やイギリスのトマス・ハーディー(Thomas Hardy, 1840-1928)などが中心となり確立した文学思潮です。これを反映した自然主義文学では、「遺伝」や「環境」といった人間の力が及ばない絶対的な力に翻弄される人物が、冷徹な眼差しを通した写実的な筆致で克明に描かれています。多くの人物が「破滅」を経験するので、正直なところ暗いお話が多いです。このようなヨーロッパ生まれの文学を、アメリカが輸入し独自に発展させたものがアメリカ自然主義文学であり、ヨーロッパとは異なりロマンティックな要素を含んでいるのがその特徴です。暗いムードが漂う中にそのような明るさを垣間見ることができるところに、私は魅力を感じています。

アメリカ文学史上では、自然主義文学の代表として色々な作家が紹介されています。私はその中でもジャック・ロンドン(Jack London, 1876-1916)という作家に着目し、これまでに彼の小説の批評および翻訳をおこなってきました。現在は「動物」という環境的テーマに焦点を当てた作品分析を試みています。今後の研究としては、新たな主題に着目したロンドン文学の批評をおこなったり、同時代に活躍したスティーヴン・クレイン(Stephen Crane, 1871-1900)や فرانク・ノリス(Frank Norris, 1870-1902)といった他の作家の作品について考えてみたりなど、新たな研究にも着手したいと思っています。どの作家も若くして生涯を終えているところにも共通点があります。短い人生の中で瞬間的に花を開かせた文学的才能に向き合いながら考究し、アメリカ文学という立場から古今の異文化についての理解を深める一助となる研究ができればと考えています。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	